

◆ 50年の節目を前に ◆

校舎の片隅に、その藤棚はある。昭和48（1973）年の開校以来、本校の来し方を見守ってきたであろう藤棚は、毎年春になると見事な花を見せてくれる。



『藤朋』と名付けられた40周年記念誌（平成24（2012）年発行）を繙く。それによると、早くも昭和46（1971）年に本校の萌芽が読み取れる（…促進協議会を開催、建設地を藤代町…）。

そして開校（1973年）。当初の職員は校長を含め20名。4月7日に第1回の入学式挙行。その年の5月1日が第1回の創立記念日とある。

2年後の1975年、第3回入学式で全学年が揃う。この年には、3周年記念式典も開かれていることが読み取れる。

そして翌1976年3月、第1回の卒業生が巣立つ。

昨年度のメッセージでも触れた校内駅伝大会は、1979年12月に「校内マラソン大会」として始まったことがわかる。

また、本校の特色の一つでもある国際教育に目を向けると、1984年3月に「第1回日米交流派遣生出発」とあるように、すでに40年近くの歴史があることがわかる。こう言った取組が実を結び、2004年には文科省からスーパーイングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール（SELHi）の指定を受けることとなる。



部活動関係では、早くも1976年に剣道部が全国大会に出場している。79年には、これに陸上部・空手道部が続く。2000年代に入ると、多くの部が全国大会への出場を果たし、硬式野球部の春夏通算5回の甲子園出場は「藤高クオリティ」を高めてくれている。昨年度末に紹介した吹奏楽部も、東関東吹奏楽コンクール出場の実績をもつ。

次年度、本校は創立50周年の節目を迎える。昨年度末に、PTAの役員さんがしみじみとおっしゃっていた。「もう50年なんですね・・・」

『論語』には「五十にして天命を知る」とある。本校の天命とは・・・、藤棚にはそういったことも含めて本校の行く末を見守ってもらおう。5月1日は49回目の創立記念日である。